問 公共施設に赤ちゃんの駅を

答 市役所内に確保を検討

河田美穂 議員（公明党）

大住児童館に設置されている授乳施設

❶中学生の自転車通学の安全について、市の考えは。

教育部長 指導、啓発をする。ヘルメットの着用意欲を高めるような方策も検討したい。

❷三人乗り自転車の購入に助成やレンタル制度をしてはどうか。

保健福祉部長 子育て講習会の交通教室等で、試乗体験をする取り組みを考える。

❸公共施設に「赤ちゃんの駅」（おむつ替えや授乳ができるスペース）を設置してはどうか。

総務部長 市役所庁舎内に何とか授乳場所が確保できないか検討する。各施設は気軽に授乳などを申し出られるよう表示などに工夫する。

❹集合住宅の火災防止のため通路や階段などの物品の放置をどうするのか。

消防長 建物所有者等に指導を行い、協議をしながら改善を求めていきたい。

❺公共施設の火災防止対策について、市の考えは。

総務部長 職員による誘導が最も効果があるので、訓練などに取り組んでいく。

❻商業施設などの火災防止対策について、指導強化を。

消防長 年間を通じて防火査察や火災予防運動時期に指導を行っている。

❼小学校給食の民間委託を実施して問題はないのか。

教育部長 調理業務の民間委託を実施しても、あくまで教育委員会が全責任を持って実施する。また、委託校には栄養士を配置するなど、改善を行っていきたい。今回、委託の実施を予定している学校の保護者を対象に、再度説明会を開くといった計画を持っている。

❽中学校給食を実施してはどうか。

教育部長 中学生の食のあり方について、学校関係機関等も交えて十分に研究、検討していく。

問 生活守る予算を

答 子どもの医療費助成拡充

井上薫 議員（共産党）

❶2010年度予算は、市民生活を守り向上する立場での予算編成を求める。

市長 国の政権交代の影響で先行き不透明感や厳しさを増す社会経済状況のもとで大規模な事業展開はできないが、喫緊の課題である雇用や経済対策など、市民に直結し、市民生活を支える行政の推進。当面は短期的戦略を重視した予算にしていかざるを得ない。

❷子どもの医療費助成制度の拡充をはかれ。

市長 通院は小学校三年生まで入院は中学校卒業までの助成を拡充する方向で当初予算に反映させていくか検討している。六年生まで拡充との意見であるが、子育ての医療費の助成だけが行政課題ではなくバランスよく対応していく。

❸2010年4月から路線バスが再編スタートするが、このことに伴い福祉施設送迎用バス、スクールバスが廃止される。助成制度・安全対策を求める。

保健福祉部長 老人福祉センターへの送迎バスは、バス路線の不十分さから利用者の利便性を確保するために送迎バスの運行を行っていた。こうした現在の送迎バス利用の経過等を踏まえて当初予算編成作業の中で十分議論する。

教育部長 普賢寺小学校の通学用スクールバスは打田分校廃校に伴う通学手段の確保のため実施してきた。新バス体系の見直しに伴いスクールバスの廃止によっても保護者に新たな負担がかからないよう助成を行う。安全対策については、保護者の方とも十分議論して安全をはかる。

サッカーを楽しむ子どもたち

❹農業における、家族経営の維持、共同化、基盤整備をすすめよ。

経済環境部長 地域農業の振興を進めるため、担い手の育成、集団・共同化が重要。今後も各種の制度を継続、支援する。

問 富野荘八幡線 大型車通行規制は

答 松井大住線 開通後公安委員会へ上申

市田博 議員（一新会）

❶池ノ端丸山線の府及び市の対応と進捗状況は。

建設部長 京奈和、第二京阪、山手幹線等数多くの道路が整備されたことにより、道路交通の状況は大きく変化した。今後の道路交通施策は、幅広い観点から検討する必要がある。府市協議の上、北部地域道路網協議会を設置し、第二京阪道路開通後に交通状況を分析した上で、市北部道路網のあるべき姿を協議していきたい。

❷花住坂の不法建築物「店舗」に対する指導と対策は。火災後、残った建物で営業しているが、衛生上の問題はないのか。

建設部長 去る11月9日に全焼した建物を含め、撤去移転の是正指導を行った。事業主は、移転先用地を八幡市域の京阪ローズタウンの隣接した場所に確保し、移転場所の造成工事と開発許可申請事前協議を府に申請中。衛生上の問題については、保健所の指導を要請した。

❸大住工専拡大事業の組織立ち上げと組織編成後の強力な指導と支援は。

建設部長 準備会設置のための地区役員の選出が遅れていたが、地元関係者の多大な協力を得て設置できた。今後、区画整理組合準備委員会の早期結成に向け、地元関係者の更なる協力を得ながら、必要な助言と具体的な情報提供など、物心両面にわたる積極的な支援を続行する。

大型車の通行規制が望まれる府道富野荘八幡線

❹関屋橋右折レーンと野上排水路問題の進捗は。

建設部長 関屋橋右折レーンは、府において昨年度より事業を行い、現在では西側の測量が完成し、21年度末に一部工事を発注し、22年度完成予定で進められている。野上排水路は測量委託費600万円を計上、年度末に発注予定をしている。

❺富野荘八幡線の大型車通行規制について。

安心まちづくり室長 松井大住線開通後、22年度中に大型車通行規制の方向性で検討している。

問 市民の健康促進へ対策を

答 75歳以上の人間ドック 助成を実施

増富理津子 議員（共産党）

❶在宅介護の中で、デイサービスと並んで大きな役割を果たしているのがショートステイである。ところが、3カ月前から予約でいっぱいになり、利用したいときに利用できない状況になっている。施設の基盤整備とともに、ショートステイの緊急時ベッドの確保を行政の責任ですべき。

保健福祉部長 各施設に依頼しているが、経営面からも難しいと聞く。実態を把握していきたい。

❷昨年来、大幅に健診事業が変更され、受診への影響はどうか。市民の健康促進への取り組みを。

市民部長 特定検診の受診率は44・8％であるが、特定保健指導が進んでいない。周知、検査項目の追加、実施期間の延長など対応を図っている。これまで懸案であった75歳以上の人間ドック助成を来年度より実施する。

人間ドックの超音波検査機器

❸新型インフルエンザのワクチン不足が拍車をかけている中、任意での集団接種へ取り組む自治体もあるようだが、市としての対策を。また、費用的にも2回接種の年齢では高額になる。助成の検討を。

保健福祉部長 各戸配布ビラやホームページで状況をお知らせしている。対策を医師会とも話し合ってみる。

❹乳幼児にとって極めて重篤な感染症である細菌性髄膜炎を予防するヒブワクチン接種は経費が一人3万円必要。接種費用への助成検討を。

保健福祉部長 現在、予防接種法に位置付けられていないので助成の対象として考えていない。

❺子宮頸がんを予防するヒトパピローマウイルスワクチンの任意接種が実施される。経費が高額で公費負担を実施している国や自治体が多い。国へ要望するとともに、独自助成の検討を。

保健福祉部長 接種対象者や費用についても、国の動向を見ていきたい。